

平成29年度議会改革推進会議・広聴広報会議 合同先進地視察報告書

議会改革推進会議及び広聴広報会議による合同先進地視察を実施したので、下記のとおり報告する。

議会改革推進会議
広聴広報会議

記

- 1 調査期間 (1) 平成29年5月29日(月)から5月30日(火)まで
(2) 平成29年6月26日(月)から6月28日(水)まで
- 2 調査先 (1) 群馬県太田市議会、宮城県栗原市議会
(2) 岩手県金ケ崎町議会、福島県会津若松市議会
- 3 調査委員等
(1) 桑田鉄男副議長[改革○]、小野寺勝也議員[改革/広聴◎]、濱欠明宏議員[改革]、高屋敷英則議員[改革]、豊巻直子議員[改革/広聴]、岩城元議員[広聴]、大石美奈主査、長内紳悟主査
(2) 中平浩志議長[改革◎]、上山昭彦議員[改革/広聴○]、山口健一議員[改革/広聴]、澤里富雄議員[改革]、小倉利之議員[広聴]、二子賢一議員[広聴]、黒沼繁樹議員[広聴]、畑中勇吉議員[広聴]、皆川賢司係長、水上恵一係長、長内紳悟主査 **【※◎は座長、○は副座長】**
- 4 調査事項
○群馬県太田市議会
「議会による政策評価・事務事業評価の取り組みについて」
○宮城県栗原市議会
「議会報告会及び委員会所管事務調査の取り組みについて」
○福島県会津若松市議会
「政策形成サイクルにおける政策討論会の位置付け・運営について」
「決算審査における施策評価の考え方について」
○岩手県金ケ崎町議会
「議会広報紙の取り組みについて」
- 5 調査結果
別添のとおり

群馬県太田市

「議会による政策評価・事務事業評価の取り組みについて」

- 日 時 平成29年5月29日（月） 午後1時30分～午後3時30分
- 場 所 太田市役所 議会応接室
- 応対者 久保田俊副議長、大島正芳議会運営委員長、八木田恭之議会運営副委員長、伏島治副局長、山影正敏課長補佐、竹内恵美係長代理

【取組の概要】

議会と執行者が市政課題を共有するとともに、今後の行政執行の改善や予算審議に役立てることを目的に、平成26年度より政策評価・事務事業評価を実施。毎年度、市主要事業のうちから評価対象事業の選定を行い、所管する常任委員会が評価を付したうえで、市長へ評価結果を送付している。

【根拠規定（太田市議会基本条例）】

（市長等と議会）

第12条 議会は、市長等と常に緊張感のある関係を保持し、その事務の執行について監視及び評価を行うとともに、政策の立案、提言等を通じて、市政の発展に取り組むものとする。

◆常任委員会による事務事業評価の流れ（平成28年度）

平成28年5月（2日間）	評価対象事業の抽出・選定
平成28年6月（2日間）	評価対象事業の内容把握
平成28年7月（2日間）	事業内容の当局聴取・質疑／評価作業（自由討議）
平成28年8月（2日間）	評価作業（自由討議）
平成28年9月（2日間）	評価とりまとめ（自由討議）
平成28年9月 ～10月	常任委員長から議長に対し、評価結果を報告
	会派代表者会議にて評価結果を報告
	議会運営委員会にて評価結果を報告
	全員協議会にて評価結果を報告
平成28年10月	議長から市長に対し、評価結果を送付
平成28年11月	評価結果の公表（市議会だより・議会報告会）

※決算・予算審査、議会報告会との連動は特になし。

※議会報告会は、11月及び3月に年2回実施。

宮城県栗原市

「議会報告会及び所管事務調査の取り組みについて」

- 日 時 平成 29 年 5 月 30 日（火） 午後 1 時 00 分～午後 2 時 30 分
- 場 所 栗原市役所 委員会室
- 応対者 瀬戸健治郎議長、石川正運議会運営委員長、ほか議会運営委員 7 名、菅原茂樹局長、鹿野有三次長、佐藤芳幸議事調査係長

【取組の概要】

平成24年度より議会報告会を年1回開催。2カ年の開催検証を踏まえ、平成26年度より報告内容については定例会審議の概要報告から所管事務調査の活動報告に改めている。

なお、所管事務調査は毎年調査テーマを設定し、年間サイクルで活動していることから、その活動報告には飽きがこないと参加者から一定の評価も得られており、結果として所管事務調査の活性化に繋がっている。

【根拠規定（栗原市議会基本条例）】

（議会報告会）

第7条 議会は、市政の諸課題に柔軟に対応するため、市政全般にわたって議員及び市民が自由に情報及び意見を交換する議会報告会を行う。

（委員会の運営）

第15条 委員会は、新たな行政課題に迅速かつ的確に対応する専門性と特性をいかして、政策提言及び政策立案を積極的に行うものとする。

◆常任委員会による所管事務調査の流れ（平成28年度）

平成 28 年 3 月	調査テーマ①の抽出・設定（会期中の委員会日）
	閉会中継続調査の申し出・議決（本会議最終日）
平成 28 年 4 月 ～ 8 月	調査テーマ①に関する所管事務調査 （机上調査→現地調査→意見聴取→先進地視察）
平成 28 年 9 月	常任委員長から議長に対し、調査結果を報告（会期前）
	調査結果について委員長報告（本会議初日）
	調査テーマ②の抽出・設定（会期中の委員会日）
	閉会中継続調査の申し出・議決（本会議最終日）
平成 28 年 10 月	議会報告会において調査テーマ①に関する活動報告

平成 28 年 11 月	調査テーマ②に関する所管事務調査 (机上調査→現地調査)
平成 28 年 12 月	常任委員長から議長に対し、調査結果を報告(会期前) 調査結果について委員長報告(本会議初日)

※調査テーマ①に関しては、議会報告会で報告することを考慮した内容に設定。

岩手県金ケ崎町

「議会広報紙の取り組みについて」

- 日 時 平成 29 年 6 月 26 日（月） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分
- 場 所 金ケ崎町役場 常任委員会室
- 応対者 佐藤千幸副議長、及川みどり議会広報委員長、阿部典子議会広報委員、
千葉良作議会広報委員、後藤清恒局長

【取組の概要】

議会広報常任委員会を設置し、議会だより「かねがさき」及び議会広報お知らせ版の発行を中心とした広報活動を行っている。

議会だよりに関しては、定例会開催月の翌月第一木曜日のスピード発行を実現しているほか、その内容企画・編集の作業全般にわたって委員自らが中心となって行っている。

福島県会津若松市

「政策形成サイクルにおける政策討論会の位置付け・運営について」

「決算審査における施策評価の考え方について」

○日 時 平成 29 年 6 月 27 日（火） 午後 1 時 00 分～午後 3 時 00 分

○場 所 会津若松市役所

○応対者 目黒章三郎議長、佐藤邦雄議員、内海基議員、谷ヶ城保副主幹、佐々木通則事務局員

【取組の概要】

政策討論会は、政策形成サイクルの 3 ツール「市民との意見交換会（第 5 条）」「広報広聴委員会（第 6 条）」「政策討論会（第 13 条）」の一つとして議会基本条例に位置づけられ、各常任委員会に相当する第 1 から第 4 までの分科会で構成されている。

広報広聴委員会が設定する課題テーマに関し、分科会討議を基軸として、専門的知見の活用によるテーマ研究や先進地調査等を踏まえ、課題解決に向けた仮設の立案・検証を行ったうえで政策形成を図っている。

なお、政策立案された内容については、政策討論会全体会において政策提言書にとりまとめられ、市長へ送付される。

市民との意見交換会を踏まえて設定される課題テーマ、さらにそれに基づく政策立案の内容について、総合計画及び決算審査との連動性を強くするため、平成 25 年度より予算決算常任委員会を設置し、政策討論会における論点情報をもとにした総合計画基本施策に関する施策評価を行っている。

評価は、予算決算常任委員会分科会において決算審議前さらに決算審議を通じて行い、決算認定にあたって最終評価及び要望的意見を付す形式をとっている。

また、評価結果を踏まえ、翌年度予算の編成や施策動向について、分科会において予算審議前調査を行ったうえで予算審議がなされており、決算・予算のサイクル化も図られている。

【根拠規定（会津若松市議会基本条例）】

（政策討論会）

第 13 条 議会は、市政に関する重要な政策及び課題に対して、共通認識及び合意形成を図り、もって政策立案、政策提案及び政策提言を推進す

るため、政策討論会を開催するものとする。

(監視及び評価)

第10条 議会は、市長等の事務の執行について、事前又は事後に監視する責務を有する。

2 議会は、本会議における審議、議決等を通じて、市民に対して市長等の事務の執行についての評価を明らかにする責務を有する。

◆予算決算常任委員会分科会による基本施策評価の流れ（平成28年度）

平成28年4月 ～5月	市民との意見交換会（地区別） 広報広聴委員会による課題テーマの設定
平成28年6月 ～8月	政策討論会における課題テーマの研究・調査 市民との意見交換会（テーマ別） 決算審査準備会による事前評価
平成28年9月	決算審査・最終評価
平成28年11月	市民との意見交換会（地区別）
平成29年1月 ～2月	予算審査準備会
平成29年3月	予算審査